

第50回 全国高等専門学校体育大会

バスケットボール競技



平成27年8月16日男子決勝

鈴鹿工業高専 (東海地区)	71	<table style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td><td style="padding: 0 5px;">17</td><td style="padding: 0 10px;">—</td><td style="padding: 0 5px;">24</td><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td><td style="padding: 0 5px;">9</td><td style="padding: 0 10px;">—</td><td style="padding: 0 5px;">19</td><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td><td style="padding: 0 5px;">19</td><td style="padding: 0 10px;">—</td><td style="padding: 0 5px;">12</td><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td><td style="padding: 0 5px;">26</td><td style="padding: 0 10px;">—</td><td style="padding: 0 5px;">25</td><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td></tr> </table>		17	—	24			9	—	19			19	—	12			26	—	25		80	松江工業高専 (中国地区)
	17	—	24																					
	9	—	19																					
	19	—	12																					
	26	—	25																					

第1P, ターンオーバーから**#8**の速攻で先制した松江は、その後も**#10**などが確実にシュートを決め2分を過ぎて松江 **9-2** 鈴鹿とリードを奪う。一方の鈴鹿は**#7**のインサイドなどで反撃、5分過ぎには**#11**のフリースローが決まって松江 **15-11** 鈴鹿と迫る。しかし、松江は**#10**がこのピリオド **13** 得点の活躍、逆転を許さない。鈴鹿も**#5**が3Pシュートを決めるなどするが松江 **24-17** 鈴鹿で第1Pを終える。

第2Pに入り、鈴鹿は**#5**が最初のシュートを決めるが、松江は**#4**が3Pシュートを返す。この後、3分近く両チーム得点を挙げられないが、松江は**#4**がシュートを決めると、じわじわと鈴鹿を引き離しにかかる。鈴鹿は**#14**のシュートなどで粘るが、松江は6分過ぎから**#15**などで連続9得点、さらに点差を広げゲームの主導権を握る。前半終了で松江 **43-26** 鈴鹿と松江が **17** 点のリードを奪った。

後半に入ると、鈴鹿は**#5**のシュートが高確率で決まり出す。松江は一時 **19** 点差までリードを広げたが、鈴鹿**#5**を止められず、徐々に差を詰められる。このピリオドは松江 **12-19** 鈴鹿となり、第3P終了で松江 **55-45** 鈴鹿と、鈴鹿が **10** 点差に追いついて終了した。

第4P, 立ち上がりから鈴鹿は**#4, #11**が連続ゴール、さらに**#4**が3Pシュートを決め、開始1分で松江 **55-52** 鈴鹿と一気に3点差とする。このまま逆転を狙いたい鈴鹿に対し、松江は**#15**がシュートを決めて何とかしのぐ。一進一退の攻防が続くが、松江は5分過ぎに**#5**の3Pシュート、さらに**#16**のシュートが決まり、松江 **66-58** とリードを広げる。鈴鹿も**#5, #11**のシュート、残り1分を切つてからはファールゲームを見せ、さらに積極的なオフェンスで何とか逆転しようと粘りを見せたが、松江は落ち着いてフリースローを決め加点。鈴鹿の追い上げを振り切った。結局松江 **80-71** 鈴鹿で松江高専が勝利、3年ぶり **13** 回目の優勝を決めた。